

2019年度(平成31年度・令和元年度)活動報告

I. セミナー

テーマ	講師(所属機関)	司会	期日	主催者	共催者
“Herman Melville and the Global Motley Crew”	Marcus Rediker (University of Pittsburgh)	遠藤泰生	2019年 3月19日	CPAS	初期アメリカ学会
“Reflections on the Easternisation of the Red Cross Movement: The Role of the Japanese Red Cross and the League of Red Cross Societies, 1907–1926”	Melanie Oppenheimer (Flinders University/ 東京大学豪日交流基金 招へい教授)	西崎文字	2019年 7月16日	CPAS	豪日交流基金 (AJF)
“Yasuoka Shōtarō, Nashville 1960, and the Triangulation of History”	Kendall Heitzman (University of Iowa) コメント: 逆井聡人 (東京外国語大学) 村上克尚 (東京大学)	遠藤泰生	2019年 7月23日	CPAS	後援: アメリカ研究 振興会
“Transpacific Scholars: Conceptualizing the Case of American Studies in Japan”	Lon Kurashige (University of Southern California/ 東京大学 フルブライト招へい教授)	遠藤泰生	2019年 7月25日	CPAS	
“Capitalism and Violence: A Short History”	Sven Beckett (Harvard University) コメント: 柳生智子 (慶應義塾大学)	遠藤泰生	2019年 10月13日	CPAS	後援: アメリカ研究 振興会・愛知県立 大学グローバル 学術交流事業
“Australian Relations with China and the United States: Perspectives on the Past and Present from a Contemporary Historian”	David Lowe (Deakin University/ 東京大学豪日交流基金 招へい教授)	杉田弘也 (神奈川 大学)	2019年 11月9日	オーストラリア 学会	CPAS
“Factories in the Fields: The Americanness of Industrial Agriculture”	Peter A. Coclanis (University of North Carolina) コメント: 名和洋人 (名城大学)	橋川健竜	2019年 12月3日	CPAS	東京大学グローバル 地域研究機構 (IAGS) 基盤研究(C) 「環大西洋圏に おけるアメリカ南部 と西インド諸島の 奴隷貿易の展開」 後援: アメリカ研究 振興会
“Treaties in Danger?: Contemporary Crises of International Order in Historical Perspective”	David Armitage (Harvard University) コメント: 小川浩之 (東京大学)	遠藤泰生	2020年 1月7日	CPAS	東京大学グローバル 地域研究機構 (IAGS) 基盤研究(B) 「西洋近代の海洋世 界と『海民のグロー バル循環——北大 西洋海域から』」 後援: アメリカ研究 振興会

“The Oceanic Turn: A Turn for the Better?”	David Armitage (Harvard University)	遠藤泰生	2020年 1月8日	CPAS	東京大学グローバル 地域研究機構 (IAGS) 基盤研究(B) 「西洋近代の海洋世界と『海民のグローバル循環——北大西洋海域から』」 後援：アメリカ研究振興会
「内戦との対峙：長期にグローバルに——『内戦の世界史』をめぐって」	David Armitage (Harvard University)	平田雅博 (青山学院大学)	2020年 1月16日	CPAS	東京大学グローバル 地域研究機構 (IAGS) 基盤研究B：「言語帝国主義と『翻訳』」 後援：アメリカ研究振興会 岩波書店

II. 東京大学・オーストラリア国立大学(ANU)戦略的パートナーシップ・ワークショップ

- ・“International Relations and Political Philosophy”

期日：2019年11月26日(火)

場所：オーストラリア国立大学(ANU)

共催：CPAS、ANU Coral Bell School of Asia Pacific Studies

III. 研究プロジェクト

- ・日本学術振興会科学研究費補助金・基盤研究(B)
「現代アメリカ外交の「視座」形成過程をめぐる複合的研究」(代表：西崎文子)
- ・日本学術振興会科学研究費補助金・基盤研究(C)
「ウィルソン外交と人種問題との相関：「リベラルな国際秩序」概念の再検討」
(代表：西崎文子)
- ・日本学術振興会科学研究費補助金・基盤研究(C)
「東アジアの高齢者就労の比較社会学」(代表：瀬地山角)
- ・日本学術振興会科学研究費補助金・基盤研究(C)
「北米大陸史枠組み構築のための1812年戦争研究：双方向的把握の試み」
(代表：橋川健竜)
- ・日本学術振興会科学研究費補助金・若手研究
「新たな同盟像の提示に向けて——『対称・非対称ハイブリッド型同盟』としての日米同盟」
(代表：板山真弓)

IV. 出版活動

- ・『アメリカ太平洋研究』第19号(2019年3月)

V. センター所属教員の2019年1月から12月までの研究活動

西崎文子

[学術論文]

- ・「序論 「ウィルソン主義」の一〇〇年」『国際政治』第198号(2020年1月)、1-14頁。

[その他の執筆]

- ・「同時代史としてのアメリカ研究——駒場との往還」東京大学教養学部編『東京大学駒場スタイル』(東京大学出版会)2019年6月、136-141頁。
- ・書評「ナンシー・アイゼンバーグ『ホワイト・トラッシュ アメリカ低層白人の四百年史』、A. R. ホックシールド『壁の向こうの住人たち アメリカの右派を覆う怒りと嘆き』」『朝日新聞』2019年1月12日。
- ・書評「ヒシャム・マタール『帰還 父と息子を分かち国』」『朝日新聞』2019年2月9日。
- ・書評「ジェラルディン・ブルックス『ケイレブ』」『朝日新聞』2019年2月23日。
- ・書評「アライダ・アスマン『想起の文化 忘却から対話へ』」『朝日新聞』2019年3月23日。
- ・書評「上杉忍『ハリエット・タブマン「モーゼ」と呼ばれた黒人女性』、キャサリン・クリントン『自由への道 逃亡奴隷ハリエット・タブマンの生涯』」『朝日新聞』2019年4月20日。
- ・書評「エヴァ・ホフマン『シュテットル ポーランド・ユダヤ人の世界』」『朝日新聞』2019年5月4日。
- ・書評「三山喬『漂流する魂 世界のウチナーンチュ120年の物語』」『朝日新聞』2019年6月1日。
- ・書評「リジー・コリンガム『大英帝国は大食らい イギリスとその帝国による植民地経営は、いかにして世界各地の食事をつくりあげたか』」『朝日新聞』2019年6月8日。
- ・書評「レオナルド・パドゥーラ『犬を愛した男』」『朝日新聞』2019年6月22日。
- ・書評「ロバート・キャンベル『井上陽水英訳詞集』」『朝日新聞』2019年6月29日。
- ・書評「ミチコ・カクタニ『真実の終わり』」『朝日新聞』2019年7月27日。
- ・書評「スーザン・サザード『ナガサキ 核戦争後の人生』、ダヴィデ・マリア・トゥロルド『地球は破壊されはしない』」『朝日新聞』2019年8月10日。
- ・書評「トニ・モリスン『「他者」の起源 ノーベル賞作家のハーバード連続講演録』」『朝日新聞』2019年8月24日。
- ・書評「ヤン＝ヴェルナー・ミュラー『試される民主主義 20世紀ヨーロッパの政治思想(上・下)』」『朝日新聞』2019年9月7日。
- ・書評「ジェニファー・イーガン『マンハッタン・ビーチ』」『朝日新聞』2019年9月14日。
- ・書評「ミシェル・オバマ『マイ・ストーリー』」『朝日新聞』2019年10月5日。
- ・書評「マーク・ベコフ『愛犬家の動物行動学者が教えてくれた秘密の話』」『朝日新聞』2019年10月26日。
- ・書評「アリエル・バーガー『エリ・ヴィーゼルの教室から 世界と本と自分の読み方を学ぶ』」『朝日新聞』2019年11月9日。
- ・書評「マヌエル・アサーニャ『ベニカルロの夜会 スペインの戦争についての対話』」『朝

日新聞』2019年11月30日。

- ・書評「リン・ハント『なぜ歴史を学ぶのか』』『朝日新聞』2019年12月7日。

[学会活動等]

- ・報告：“The End of ‘American Exceptionalism’ and the Future of Global Order,” 10th Anniversary of the Graduate School of Global Studies, “What is Global Studies? Pursuing Conviviality and Constructing new Civilizations,” 同志社大学、2019年11月30日。
- ・総合司会・企画：「危機を超えて 地域研究からの価値の創造」、日本学術会議第一部地域研究委員会地域研究基盤強化分科会主催シンポジウム、日本学術会議講堂、2019年10月4日。
- ・討論者：「特別ワークショップ イラン革命から40年 何が変わり、何が実現したか」科研費基盤A「宗教の政治化と政治の宗教化」、同新学術領域研究「グローバル関係学」、千葉大学グローバル関係融合研究センター共催、東京グリーンパレス、2019年2月10日。
- ・講演：「混迷するアメリカー歴史的視点から」、willbe アカデミー2019、東京大学本郷キャンパス、ダイワハウス石橋信夫記念ホール、2019年8月31日。
- ・パネリスト：「東京大学教養学部創立70周年記念シンポジウム 学際知の俯瞰力 第二部 駒場スタイルの未来」、東京大学駒場キャンパス講堂（900番教室）、2019年7月7日。
- ・日本学術会議第24期第一部会員

瀬地山角

[学術論文]

- ・「少子高齢社会とジェンダー」『統計』第70巻3号（2019年3月）、30–37頁。
- ・「東アジアの少子高齢社会における高齢者労働の比較研究」『比較家族史学会年次大会報告集』（未公開、2019年）。

[学会活動等]

- ・報告：「东亚高齢労働的比较研究」（中国語）、比較家族史学会、中国社会科学院、2019年9月21日。
- ・日本家族社会学会理事

[その他の研究活動]

- ・講演：「女性与高齢労働的比较研究：以东亚为例」（中国語および英語）、山東大学、2019年9月23日。

遠藤泰生

[学術論文]

- ・書評論文：「海から見るアメリカ史の可能性と課題：笠井俊和著『船乗りがつなぐ大西洋世界——英領植民地ボストンの船員と貿易の社会史』（晃洋書房、2017年）を読む」『ア

メリカ太平洋研究』第19号(2019年3月)、87-96頁。

[その他の執筆]

- ・「アメリカ研究関係の洋雑誌・研究図書・資料・データベース継続の購入および高木コレクションのマイクロ化について」『公益財団法人 アメリカ研究振興会 会報』第79号(2019年2月10日)、4頁。
- ・「『反米』の腐蝕する時代——反米・嫌米・離米」日本比較文学会東京支部 *Newsletter* 125号(2019年3月)、5頁。
- ・「科学研究費基盤研究(C)19世紀半ばのアメリカ合衆国における太平洋像とそこに映し出された合衆国理解の研究」(プロジェクト報告)『アメリカ太平洋研究』第19号(2019年3月)、117-118頁。

[学会活動等]

- ・招待講演：「『反米』の腐蝕する時代—反米・嫌米・離米」、日本比較文学会東京支部例会、二松学舎大学九段校、2019年5月19日。
- ・アメリカ学会理事および幹事
- ・初期アメリカ学会理事
- ・アメリカ研究振興会評議員
- ・International Contributing Editor, *Journal of American History*
- ・Editorial Advisory Board, *Journal of Australian American Studies*

橋川健竜

[学術論文]

- ・寄稿論文：「元・後期ロイヤリストがアメリカで描くアッパーカナダ植民地と1812年戦争(1)」、『アメリカ太平洋研究』第19号(2019年3月)、49-64頁。

[その他の執筆]

- ・「元・後期ロイヤリストがアメリカで振り返る1812年戦争とアッパーカナダ植民地」、『初期アメリカ学会ニューズレター』第83号(2019年5月28日)、1-4頁。

[学会活動等]

- ・報告：「元・後期ロイヤリストがアメリカで振り返る1812年戦争とアッパーカナダ植民地」、初期アメリカ学会第79回例会、学習院女子大学、2019年4月12日。
- ・司会：初期アメリカ学会代80回例会、学習院女子大学、2019年7月6日。
- ・司会：日本アメリカ史学会第46回例会、法政大学、2019年12月14日。
- ・アメリカ学会理事および *Japanese Journal of American Studies* 編集委員
- ・日本アメリカ史学会運営代表(2019年9月23日～)

板山真弓

[書籍]

- ・『日米同盟における共同防衛体制の形成——条約締結から「日米防衛協力のための指針」策定まで』（ミネルヴァ書房、2020年2月）。

[学術論文]

- ・『「日米防衛協力のための指針」再考』『年報政治学』70巻2号（2019年12月）、186–207頁。

[その他の執筆]

- ・書評 “Hegemony and the US–Japan Alliance by Misato Matsuoka, Abingdon: Routledge, 2018,” *International Relations of the Asia-Pacific*, 19, no. 3 (September 2019): 557–559.
- ・書評「武田康裕『日米同盟のコスト』亜紀書房、2019年」『国際安全保障』47巻4号（2020年3月）。

[学会活動等]

- ・報告 “US-Japan Defense Cooperation before the 1978 “Guidelines for Defense Cooperation between the US and Japan”: A Reassessment,” Workshop-International Relations and Political Philosophy, Australian National University, November 26, 2019.
- ・国際安全保障学会総務委員

大鳥由香子

[学術論文]

- ・「産声を記録せよ アメリカ合衆国における出生登録制度」『年報 アメリカ研究』第53号（2019年5月）、97–113頁。
- ・「ウィルソン、ウィルソン主義と米ビザ制度」『国際政治』第198号（2020年1月）、95–110頁。

[学会活動等]

- ・報告：“Visa Scramble: Border Control in the Making of the U.S. Empire,” Organization of American Historians (OAH) Annual Meeting, Philadelphia, Pennsylvania, April 5, 2019.
- ・報告：「マリアムとリウケ：20世紀初頭の米国における移民法と子ども」アメリカ学会年次大会、法政大学、2019年06月1日。
- ・報告：“Il/legible Children: Children’s Right to Identity in the Post-WWI World,” Tenth Biennial Conference of the Society for the History of Children and Youth (SHCY), Australian Catholic University, June 27, 2019.
- ・Immigration and Ethnic History Society (IEHS) Fifth Annual Graduate Student Blog Competition, Winner.